

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

02.10.03

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日
Date of Application: 2002年10月 2日

出願番号
Application Number: 特願2002-290432

[ST. 10/C]: [JP2002-290432]

出願人
Applicant(s): 株式会社ブリヂストン

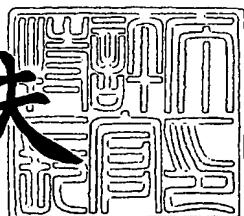
REC'D 21 NOV 2003
WIPO / PCT

PRIORITY
DOCUMENT
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH RULE 17.1(a) OR (b)

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

2003年11月 6日

今井康夫



Best Available Copy

【書類名】 特許願
【整理番号】 BS202049
【提出日】 平成14年10月 2日
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 B60C 19/00
【発明者】

【住所又は居所】 東京都小平市小川東町 3-1-1 株式会社ブリヂストン
技術センター内

【氏名】 長屋 豪

【特許出願人】

【識別番号】 000005278

【氏名又は名称】 株式会社ブリヂストン

【代理人】

【識別番号】 100080296

【弁理士】

【氏名又は名称】 宮園 純一

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 003241

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 操舵輪用インホイールモータシステム

【特許請求の範囲】

【請求項1】 操舵輪にダイレクトドライブモータを装着して成る操舵輪用インホイールモータシステムにおいて、上記ダイレクトドライブモータの非回転側に接続され、かつ、操舵方向に対して固定された第1のナックルと、ステアリングロッドに連結され、上記第1のナックルに、キングピン軸を軸として、操舵方向に回転可能に連結された、ブレーキ装置及び操舵輪が装着された第2のナックルとを備えたことを特徴とする操舵輪用インホイールモータシステム。

【請求項2】 上記モータの非回転側を、弾性体及びダンパー、または、バネ及びダンパー機能を有する弾性体を介して、上記第1のナックルに接続するようにしたことを特徴とする請求項1に記載の操舵輪用インホイールモータシステム。

【請求項3】 上記モータの出力軸と、上記第2のナックルに装着されるホイール支持ハブとを、等速ジョイントにより連結したことを特徴とする請求項2に記載の操舵輪用インホイールモータシステム。

【請求項4】 上記モータの回転部とホイールとを、モータ軸方向に互いに作動方向が直交するように連結された少なくとも2組の直動ガイドを備えたフレキシブルカップリングと、キングピン軸を作動中心とする等速ジョイント状カップリングとにより連結したことを特徴とする請求項2に記載の操舵輪用インホイールモータシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ダイレクトドライブホイールを操舵輪とする車両において用いられる操舵輪用インホイールモータシステムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】

近年、電気自動車などのモータによって駆動される車両においては、スペース

効率の高さや、駆動力の伝達効率の高さから、足回り部品であるナックルと駆動用モータとが一体化したモータを車輪に内蔵するインホイールモータシステムが採用されつつある（例えば、特許文献1～3参照）。

【0003】

【特許文献1】

特許第2676025号公報（第2頁、第1図）

【特許文献2】

特表平9-506236号公報（第9-13頁、第1図）

【特許文献3】

特開平10-305735号公報（第3頁、第1図）

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上記従来のインホイールモータシステムにおいては、モータが車両の足回りを構成する部品であるナックルに固定されているため、操舵輪にインホイールモータを使用した場合、操舵時にはホイールとともにモータも操舵方向に回転することになる。すなわち、インホイールモータ付き操舵輪は、そのモータ質量のため、操舵軸上の慣性モーメントが増大するので、操舵トルクが大きくなるだけでなく、操舵方向の共振も発生しやすいといった問題点があった。

【0005】

また、足回りにバネ等のサスペンション機構を備えた車両においては、ホイールやナックル部、サスペンションアームといったバネ下に相当する部品の質量、いわゆるバネ下質量が大きい程、凹凸路を走行したときにタイヤ接地力変動が増大し、ロードホールディング性が悪化することが知られている。従来のインホイールモータでは、上記のように、モータがナックルに固定されるため、上記のバネ下質量がモータの分だけ増加し、その結果、タイヤ接地力変動が増大し、ロードホールディング性が悪化してしまうといった問題点があった。

【0006】

本発明は、従来の問題点に鑑みてなされたもので、インホイールモータを装着した操舵輪の操舵トルクの増加を低減することのできる操舵輪用インホイールモ

ータシステムを提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】

請求項1に記載の発明は、操舵輪にダイレクトドライブモータを装着して成る操舵輪用インホイールモータシステムであって、上記ダイレクトドライブモータの非回転側に接続され、かつ、操舵方向に対して固定された第1のナックルと、ステアリングロッドに連結され、上記第1のナックルに、タイヤを操舵する中心軸となるキングピン軸を軸として、操舵方向に回転可能に連結された、ブレーキ装置及び操舵輪が装着された第2のナックルとを備えたものである。これにより、操舵してもインホイールモータは操舵方向には回転しないので、操舵輪の操舵トルクを確実に低減することが可能となる。

【0008】

請求項2に記載の発明は、請求項1に記載の操舵輪用インホイールモータシステムにおいて、上記モータの非回転側を、弾性体及びダンパー、または、バネ及びダンパー機能を有する弾性体を介して、上記第1のナックルに接続するようにしたもので、これにより、上記モータを足回り部品に対してフローティングマウントして、上記モータをダイナミックダンパーのウェイトとして作用させることができるので、タイヤ接地性及び乗り心地性を向上させることが可能となる。

【0009】

請求項3に記載の発明は、請求項2に記載の操舵輪用インホイールモータシステムにおいて、上記モータの出力軸と、上記第2のナックルに装着されるホイール支持ハブとを、等速ジョイントにより連結したので、これにより、操舵によりモータ軸とホイール軸との偏芯が生じた場合でも、モータからホイールへ、問題なく駆動力を伝達することが可能となる。

【0010】

請求項4に記載の発明は、請求項2に記載の操舵輪用インホイールモータシステムにおいて、上記モータの回転部とホイールとを、モータ軸方向に互いに作動方向が直交するように連結された少なくとも2組の直動ガイドを備えたフレキシブルカップリングと、キングピン軸を作動中心とする等速ジョイント状カップリ

ングとにより連結したもので、これにより、インホイールモータとして、構造上、ハブにモータ回転を直接伝送することのできない、中空タイプのダイレクトドライブモータを使用した場合でも、モータからホイールへ、問題なく駆動力を伝達することが可能となる。

【0011】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態について、図面に基づき説明する。

実施の形態1.

図1は、本実施の形態1に係わる操舵輪用インホイールモータシステムの構成を示す図で、同図において、1はタイヤ、2はリム2aとホイールディスク2bとから成るホイール、3は電気モータ3Aと遊星減速機3Bとをモータケース3Cに一体に組み込んだギヤードモータ、4は上記ギヤードモータ3を装着し、上下のサスペンションアーム5a、5bにそれぞれ連結された第1のナックル、6はホイール2とその回転軸において連結されたホイール支持ハブ、7はステアリングロッド8に連結され、キングピン軸Jを軸として、上記第1のナックル4に対して操舵方向に回転可能に連結された第2のナックルで、この第2のナックル7に、上記ホイール支持ハブ6を介して、ブレーキ装置9と上記ホイール2とが装着されている。

すなわち、本例の操舵輪用インホイールモータシステムは、ナックルを、操舵方向に固定された第1のナックル4と、ステアリングロッド8に連結され、ホイール2を装着した第2のナックル7とに分割するとともに、上記第1のナックル4にギヤードモータ3を装着し、この第1のナックル4と上記第2のナックル7とを操舵方向に対して回転可能に連結した構成としたものである。なお、5cはショックアブソーバ等から成るサスペンション部材である。

【0012】

上記ギヤードモータ3は、詳細には、電気モータ3Aのステータ3Sを支持する非回転側ケース3aがモータケース3Cに接続され、ロータ3Rを支持する回転側ケース3bが、遊星減速機3Bに接続された、インナーロータ型のインホイールモータで、上記モータケース3Cは、図2(a)に示すような、弾性体11

と上下方向に動きを規制する直動ガイド12とを中空円盤状のプレート13上に配置した連結部材10を介して、上記第1のナックル4に接続され、上記遊星減速機3Bの出力軸（モータ出力軸）が、両端が等速ジョイント21, 22となっている連結シャフト20により、上記第2のナックル7に接続されている。

なお、上記上下方向に動きを規制する直動ガイド12としては、図2（b）に示すように、上下方向に延長する凸部を有するガイドレール12pと、上記ガイドレール12pに係合する凹部を有するガイド部材12qとを備えたものを例示することができる。なお、上記ガイドレール12pとガイド部材12qとをより円滑にスライドさせるために、上記ガイドレール12pの凸部とガイド部材12qの凹部との間に複数の鋼球12rを配設するようにしてもよい。

【0013】

ギヤードモータ3は、上記のように、上下のサスペンションアーム5a, 5bに支持され、操舵方向に対しては固定された第1のナックル4に装着されており、この第1のナックル4が、ホイール支持ハブ6とステアリングロッド8とに連結された第2のナックル7と、キングピン軸Jを軸として、操舵方向に回転可能に連結されているので、インホイールモータであるギヤードモータ3は、従来のように、操舵時にはホイール2とともに操舵方向に回転することはない。したがって、操舵トルクの増加が生じることないので、操舵輪の操舵トルクを確実に低減することができる。

また、本例では、ホイール支持ハブ6に連結される上記第2のナックル7と上記ギヤードモータ3の出力軸とを、両端が等速ジョイント21, 22となっている連結シャフト20により連結するようにしているので、操舵時においても、問題なくモータ3からホイール2に駆動力を伝達することができる。

【0014】

更に、本例では、上記第1のナックル4と、上記ギヤードモータ3のステータ3Sを支持する非回転側ケース3aが固定されたモータケース3Cとが、弾性体11と上下方向に動きを規制する直動ガイド12とを備えた連結部材10を介して連結されているので、ギヤードモータ3は車両の足回り部品であるバネ下部分に対してフローティングマウントされる。したがって、モータ質量は、車両のバ

ネ下質量相当分から切り離され、いわゆるダイナミックダンパーのウェイトとして作用するので、凹凸路走行時におけるバネ下振動を打ち消してタイヤ接地力変動を低減させることができ、車両のロードホールディング性を向上させることができる。また、悪路走行時のギヤードモータ3への振動負荷を小さくすることができる。

【0015】

このように、本実施の形態1によれば、ナックルを、弾性体11と上下方向に動きを規制する直動ガイド12とを備えた連結部材10を介して、ギヤードモータ3の非回転側に接続され、上下のサスペンションアーム5a, 5bにより操舵方向に固定された第1のナックル4と、ステアリングロッド8に連結され、ハブ6を介して、ブレーキ装置9とホイール2とを装着した第2のナックル7とに分割し、この第2のナックル7を、キングピン軸Jを軸として、上記第1のナックル4に対して操舵方向に回転可能に連結するとともに、上記第2のナックル7と上記ギヤードモータ3の出力軸とを、両端が等速ジョイント21, 22となっている連結シャフト20により連結するようにしたので、操舵時においても、上記ギヤードモータ3の操舵方向への回転を抑制することができ、操舵輪の操舵トルクを大幅に低減できるとともに、駆動力を確実に伝達することができる。

また、ギヤードモータ3の非回転部であるモータケース3Cを、弾性体11と上下方向に動きを規制する直動ガイド12とを備えた連結部材10を介して上記第1のナックル4に取付けることにより、モータ質量がダイナミックダンパーのウェイトとして作用するようにしたので、タイヤ接地力変動を低減させることができ、車両のロードホールディング性を向上させることができる。

【0016】

実施の形態2.

上記実施の形態1では、インホイールモータとして、ギヤードモータ3を搭載した場合について説明したが、図3, 4に示すように、中空タイプのダイレクトドライブモータ3Zを搭載した場合でも、ナックルを、緩衝装置30を介して、上記モータ3Zの非回転側に接続され、上下のサスペンションアーム5a, 5bにより操舵方向に固定された第1のナックル4Zと、ステアリングロッド8に連

結され、ハブ6Zを介して、ブレーキ装置9とホイール2とを装着した第2のナックル7Zとに分割し、この第2のナックル7Zを、キングピン軸Jを軸として、上記第1のナックル4Zに対して操舵方向に回転可能に連結する構成とすることにより、上記モータ3Zを車両の足回り部品であるバネ下部分に対してフローティングマウントするとともに、操舵時においても、上記モータ3Zからホイール2に、問題なく駆動力を伝達することができる。

【0017】

上記緩衝装置30としては、図3、4に示すように、直動ガイド31を介して互いに車両の上下方向に作動方向が限定され、かつ、車両の上下方向に作動するバネ32、32及びダンパー33により結合された2枚のプレート34、35を備えたものを用いることができる。すなわち、緩衝装置30を、第1のナックル4Zに結合されたナックル取付けプレート34に、車両の上下方向に伸縮する2個のバネ32、32と車両の上下方向に伸縮するダンパー33を取り付け、モータ3Zの非回転側ケース3aに結合されたモータ取付けプレート35の上記バネ32の上部あるいは下部に対応する位置にバネ受け部36を、上記ダンパー33の上部に対応する位置に、ダンバー取付け部37を取り付けた構成とすることにより、上記モータ取付けプレート35とナックル取付けプレート34とを車両上下方向に案内するとともに、減衰力を発生しつつ、上記モータ3Zを上下運動方向に拘束することができる。したがって、モータ3Zを車両の足回り部品であるバネ下部分に対してフローティングマウントすることができるので、凹凸路走行時ににおけるバネ下振動を打ち消してタイヤ接地力変動を低減させることができ、車両のロードホールディング性を向上させることができる。

【0018】

また、中空タイプのダイレクトドライブモータ3Zは、構造上、ハブ6Zにモータ回転を直接伝送することができないので、本例では、モータ回転部とホイール2間をモータ軸に垂直方向に偏芯可能なフレキシブルカップリング50と、操舵方向に回転可能な等速ジョイント状カップリング40とを用いて連結することにより、上記モータ3Zの駆動力をホイール2に伝達するようにしている。

すなわち、上記構成のモータ3Zにおいては、モータ軸はホイール軸に対して

上下に偏芯するため、上記のように、軸垂直方向に偏芯可能なフレキシブルカップリング50を介して駆動力を伝達する。このとき、上記フレキシブルカップリング50とホイール2間を、操舵方向に対してフリーにする必要があるため、上記フレキシブルカップリング50とホイール2間に、キングピン軸Jとホイール軸との交点上に動作中心を持つ等速ジョイント状カップリング40を設ける。

これにより、操舵時においても、操舵トルクの増加を生じさせることなく、モータ3Zからホイール2に駆動力を確実に伝達することができる。

【0019】

図5(a)は上記フレキシブルカップリング50の一構成例を示す図で、このフレキシブルカップリング50は、ホイール2側に位置し、上記等速ジョイント状カップリング40の内周側にその外縁部が連結された中空円盤状のプレート(ホイール側プレート)51と、モータ3Z側に位置し、モータ3Zの回転側ケース3bと結合する中空円盤状のプレート(モータ側プレート)53と、モータ3Z側とホイール2側のそれぞれのプレート周上に90°間隔で、かつ、プレートの表、裏の同位置に、ガイド部材54aとガイドレール54bから成る直動ガイド54、及び、上記直動ガイド54の作動方向に対して直交する方向に作動する、ガイド部材55aとガイドレール55bから成る直動ガイド55とが配置され、上記直動ガイド54により上記ホイール側プレート51と連結され、直動ガイド55により上記モータ側プレート53と連結された中空円盤状のプレート(中間プレート)52とを備えたもので、図5(b)に示すように、上記中間プレート52には周方向に回転する力と径方向に押し広げられる力が作用するが、上記中間プレート52の上記各直動ガイド55の裏側(ホイール2側)には、上記各直動ガイド55のそれぞれの作動方向に対して直交する方向に作動する直動ガイド54が配置されているので、上記中間プレート52を径方向に押し広げる力は、上記各直動ガイド54による径方向に押し広げる力と釣り合って、結果的には回転力のみがホイール側プレート51に伝達される。したがって、回転側ケース3bに結合されたモータ側プレート53から直動ガイド55に入力された回転力は上記中間プレート52を挿んでホイール側プレート51に伝達されるので、上記モータ3Zの駆動力をホイール2に確実に伝達させることができる。

なお、上記フレキシブルカップリング50に代えて、図6に示すような、上記中空円盤状のプレート51～53とを作動方向が互いに直角な直動ガイド56, 57により連結したフレキシブルカップリング50Aを用いてもよい。

【0020】

【発明の効果】

以上説明したように本発明によれば、操舵輪にダイレクトドライブモータを装着して成る操舵輪用インホイールモータシステムにおいて、操舵方向に対して固定された第1のナックルと、ステアリングロッドに連結され、上記第1のナックルに、キングピン軸を軸として、操舵方向に回転可能に連結された、ブレーキ装置及び操舵輪が装着された第2のナックルとを備え、上記第1のナックルにダイレクトドライブモータを装着することにより、操舵しても、インホイールモータは操舵方向には回転しないようにしたので、操舵軸上の慣性モーメントの増大を大幅に抑制することができ、操舵輪の操舵トルクを確実に低減することができる。

また、上記モータの非回転側を、弾性体及びダンパー、または、バネ及びダンパー機能を有する弾性体を介して、上記第1のナックルに接続し、上記モータをダイナミックダンパーのウェイトとして作用させるようにしたので、タイヤ接地性及び乗り心地性を向上させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の実施の形態1に係わる操舵輪用インホイールモータシステムの構成を示す縦断面図である。

【図2】 本実施の形態1に係わる連結部材の一構成例を示す図である。

【図3】 本実施の形態2に係わる操舵輪用インホイールモータシステムの構成を示す縦断面図である。

【図4】 本実施の形態2に係わる操舵輪用インホイールモータシステムの構成を示す正面図である。

【図5】 フレキシブルカップリングの一構成例を示す図である。

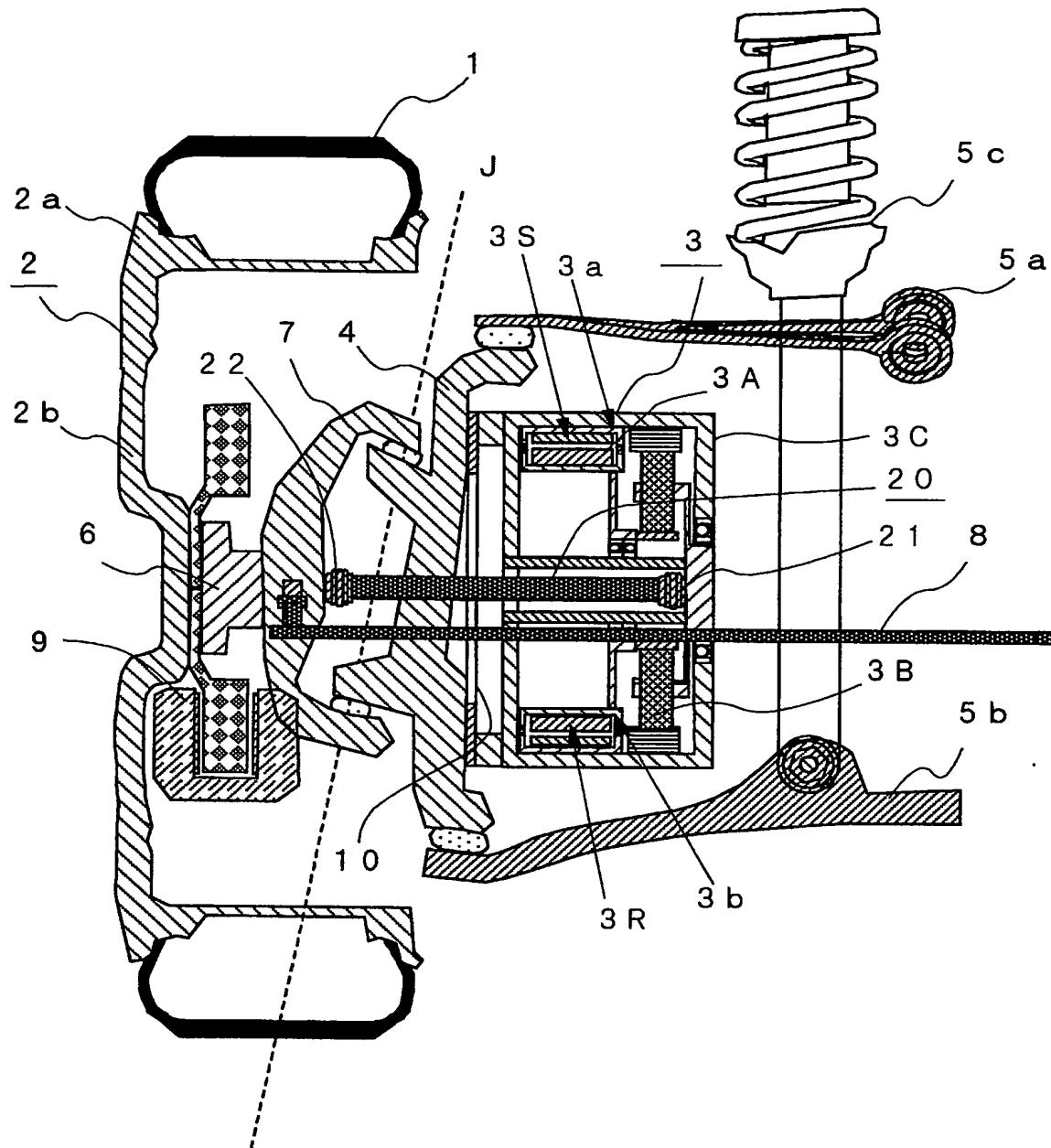
【図6】 フレキシブルカップリングの他の例を示す図である。

【符号の説明】

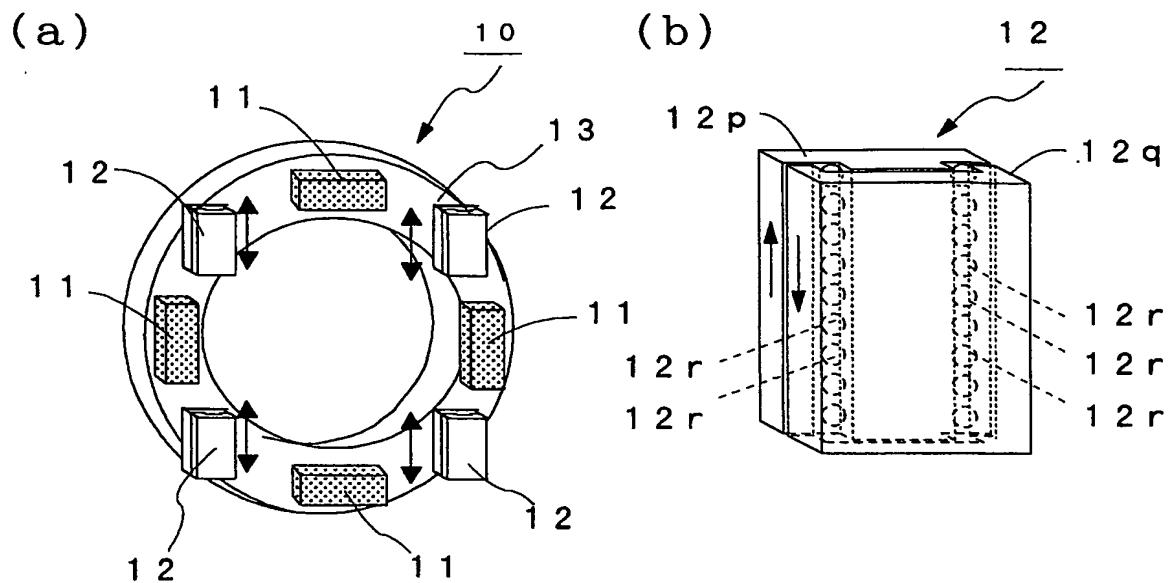
1 タイヤ、2 ホイール、2 a リム、2 b ホイールディスク、
3 ギヤードモータ、3 Z 中空状のダイレクトドライブモータ、
3 A 電気モータ、3 B 遊星減速機、3 C モータケース、
3 R モータロータ、3 S モータステータ、3 a 非回転側ケース、
3 b 回転側ケース、4, 4 Z 第1のナックル、
5 a, 5 b サスペンションアーム、5 c サスペンション部材、
6 ホイール支持ハブ、6 Z ハブ、7 第2のナックル、
8 ステアリングロッド、9 ブレーキ装置、
10 連結部材、11 弹性体、12 直動ガイド、
13 中空円盤状のプレート、
20 連結シャフト、21, 22 等速ジョイント、
30 緩衝装置、31 直動ガイド、32 バネ、33 ダンパー、
34 ナックル取付けプレート、35 モータ取付けプレート、
36 バネ受け部、37 ダンパー取付け部、
40 等速ジョイント状カップリング、
50 フレキシブルカップリング、51～53 中空円盤状のプレート、
54, 55 直動ガイド。

【書類名】 図面

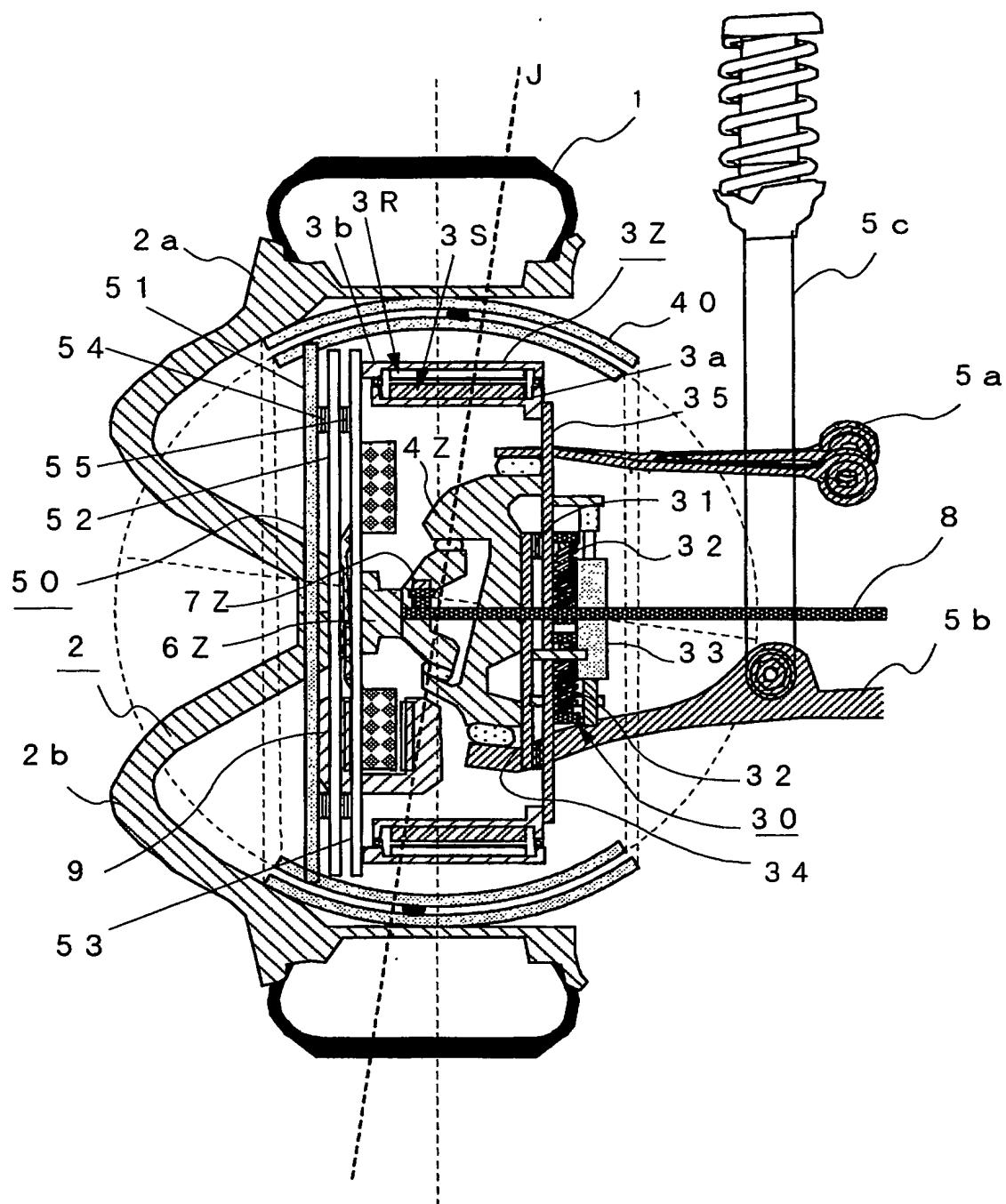
【図 1】



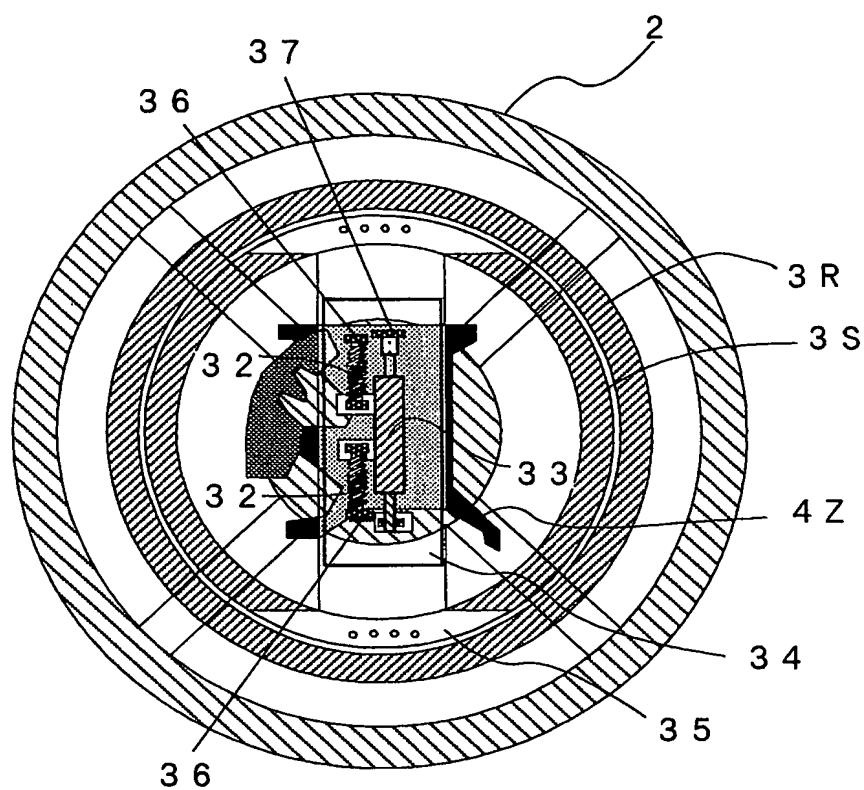
【図2】



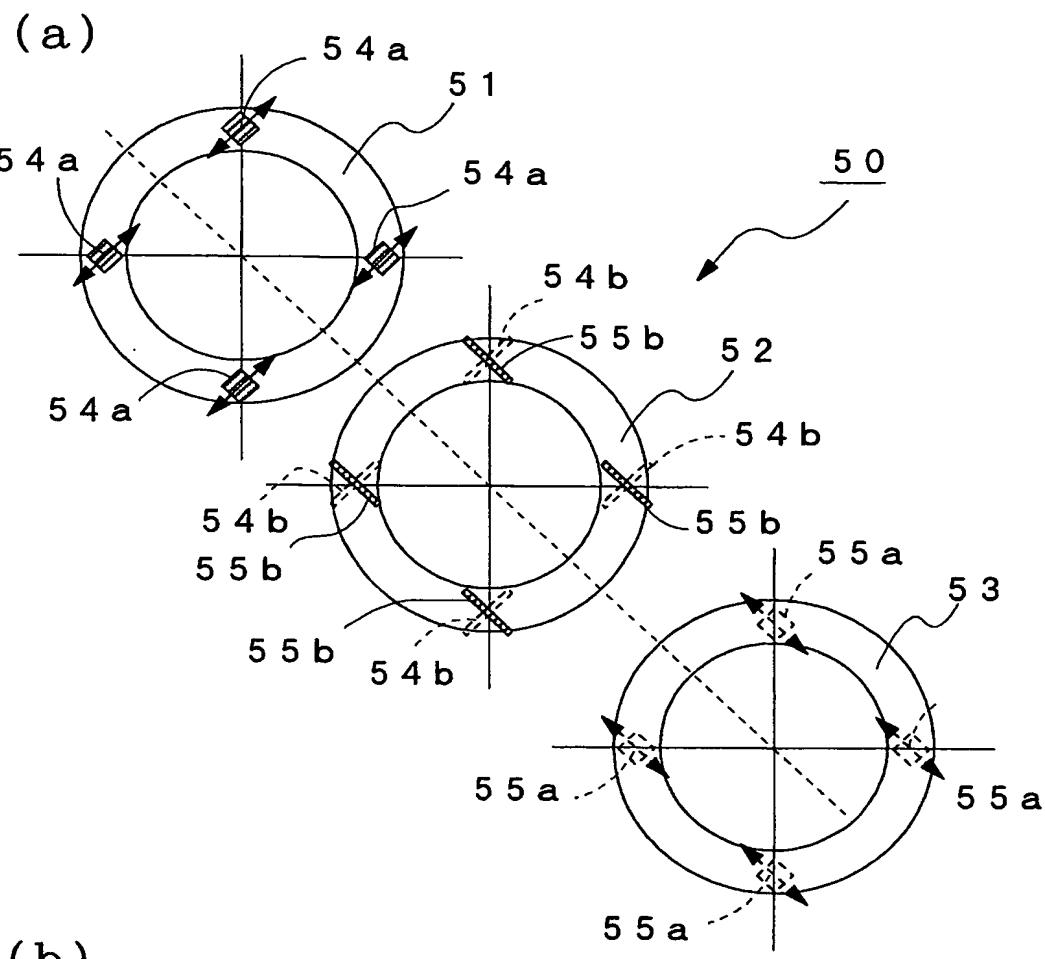
【図3】



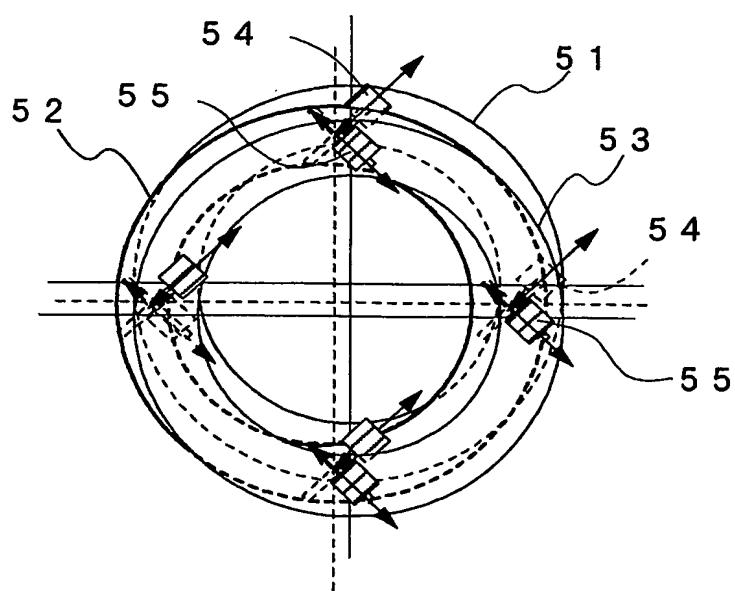
【図 4】



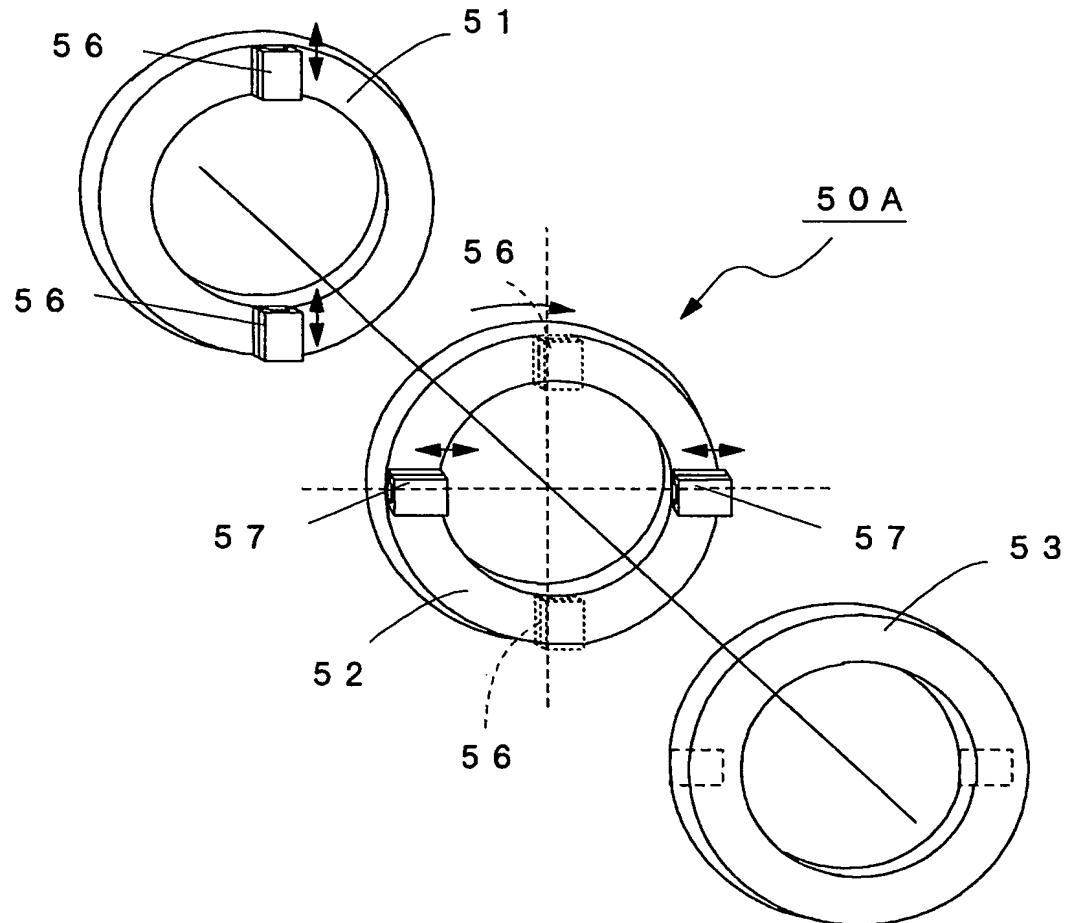
【図5】



(b)



【図 6】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 インホイールモータを装着した操舵輪の操舵トルクの増加を低減することのできる操舵輪用インホイールモータシステムを提供する。

【解決手段】 ナックルを、弾性体と上下方向に動きを規制する直動ガイドとを備えた連結部材10を介して、ギヤードモータ3の非回転側に接続され、上下のサスペンションアーム5a, 5bにより操舵方向に固定された第1のナックル4と、ステアリングロッド8に連結され、ハブ6を介して、ブレーキ装置9とホイール2とを装着した第2のナックル7とに分割し、この第2のナックル7を、キングピン軸Jを軸として、上記第1のナックル4に対して操舵方向に回転可能に連結するとともに、上記第2のナックル7と上記ギヤードモータ3の出力軸とを、両端が等速ジョイント21, 22となっている連結シャフト20により連結するようにした。

【選択図】 図1

特願2002-290432

出願人履歴情報

識別番号 [000005278]

1. 変更年月日 1990年 8月27日

[変更理由] 新規登録

住所 東京都中央区京橋1丁目10番1号

氏名 株式会社ブリヂストン

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

FADED TEXT OR DRAWING

BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

SKEWED/SLANTED IMAGES

COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

GRAY SCALE DOCUMENTS

LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.